

# 萌黄 (もえぎ) 通信



みなさん、お元気ですか？ 10月に入ってから、めっきり寒くなってきました。一日で温度差が10度近く変動する日もあるので、体調管理が難しいですね。

震災以来、仕事量が全体的に減っていましたが、先月くらいから、少しずつではありますが、仕事の依頼が回復してきました。先日、石材のシミ抜き施工でお会いしたタイル業界の方が言うには、スカイツリーの周辺の再開発が進んでいて、タイル業界は人手不足で、価格も上昇しているようです。他の業種にも波及してくるといいのですが・・・。

## 「八ヶ岳倶楽部に行ってきました。」

秋晴れの休日に、山梨の清里方面にドライブに行ってきました。以前から行ってみたかった、俳優の柳生博さんが経営している「八ヶ岳倶楽部」に行ってきました。

写真は、柳生夫人が考案したフルーツティーです。3～4人で飲めるほどのたっぷりのポットの中には、リンゴやメロン、オレンジなど7種類のフルーツが



入った紅茶で、飲み足すたびに味が少しずつ変化していく、かすかな甘みあるおいしい紅茶でした。

## 「玄関前、床石のエフロ現象」

今月の石材メンテナンスは、玄関前の乱張りの床石からエフロが発生している現場からです。普段の日常清掃時に、ホースの水でたっぷりと洗い流す機会が多いようで、恐らく、石の裏面にまで水分が溜まっているのかと思います。

更に、いつも湿気た状態のためか、石の裏面から吸い上がったアルカリ水が影響しているようで、石の表面が少し剥がれてきて、手で触るとポロポロと取れるところもあります。

今回は、普段使用する浸透性吸収防止剤より更に石目深くに浸透する劣化防止剤を選択します。

まず、洗浄から入りますが、何日か晴れ続きの日に入り、石の乾燥状態もいいので、あまり水を使わない様な洗浄を行います。洗浄後、トーチ等で表面を良く乾燥させてから、エフロと劣化に効果のあるコート剤 (ad スーパーⅡ) を塗布し

ます。飽和状態になるまで塗布し、20から30分放置して、吸い込みのある部分へは、更に、塗り足していきます。



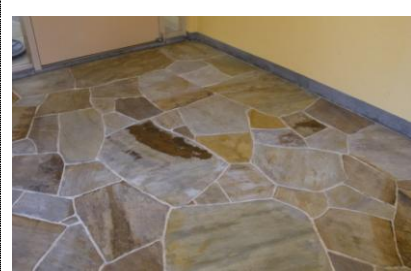
石表面にエフロ発生

この作業を3回くらい繰り返して、良く拭き上げて完了します。

石の劣化を防ぐためにも、始めのうちは、定期的にこの作業を繰り返すことが大切になってきます。



たっぷりとスーパーⅡ塗布



施工完了後

## 「白御影の石塔の茶ジミはサビです」

吸水性のある白御影石の石塔の場合、石の中の鉄分と水分が反応して、茶色いシミを作ることがあります。鉄分が石の表面近くにある場合は、茶ジミと反応して、シミ抜き剤が紫色になります。早いものでは3時間くらいの湿布で抜けてきますが、石目の深くにある鉄分と反応した茶ジミの場合は、更に長めの湿布が必要になってきます。



(編集後記) 仕事用ハイエースの警告灯が点灯して高速運転が出来ずにノロノロ状態です。以前にも同じことがあったのですが、排気ガス浄化装置の異常でススが溜まる現象のようです。3年間に2回は、さすがにイライラしますね。

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (株) ケイ・アンド・エス 堀内貢次 (ほりうちこうじ)

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10 5F タスク内

(電話) 03-3431-1293 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) [info@e-kands.jp](mailto:info@e-kands.jp)